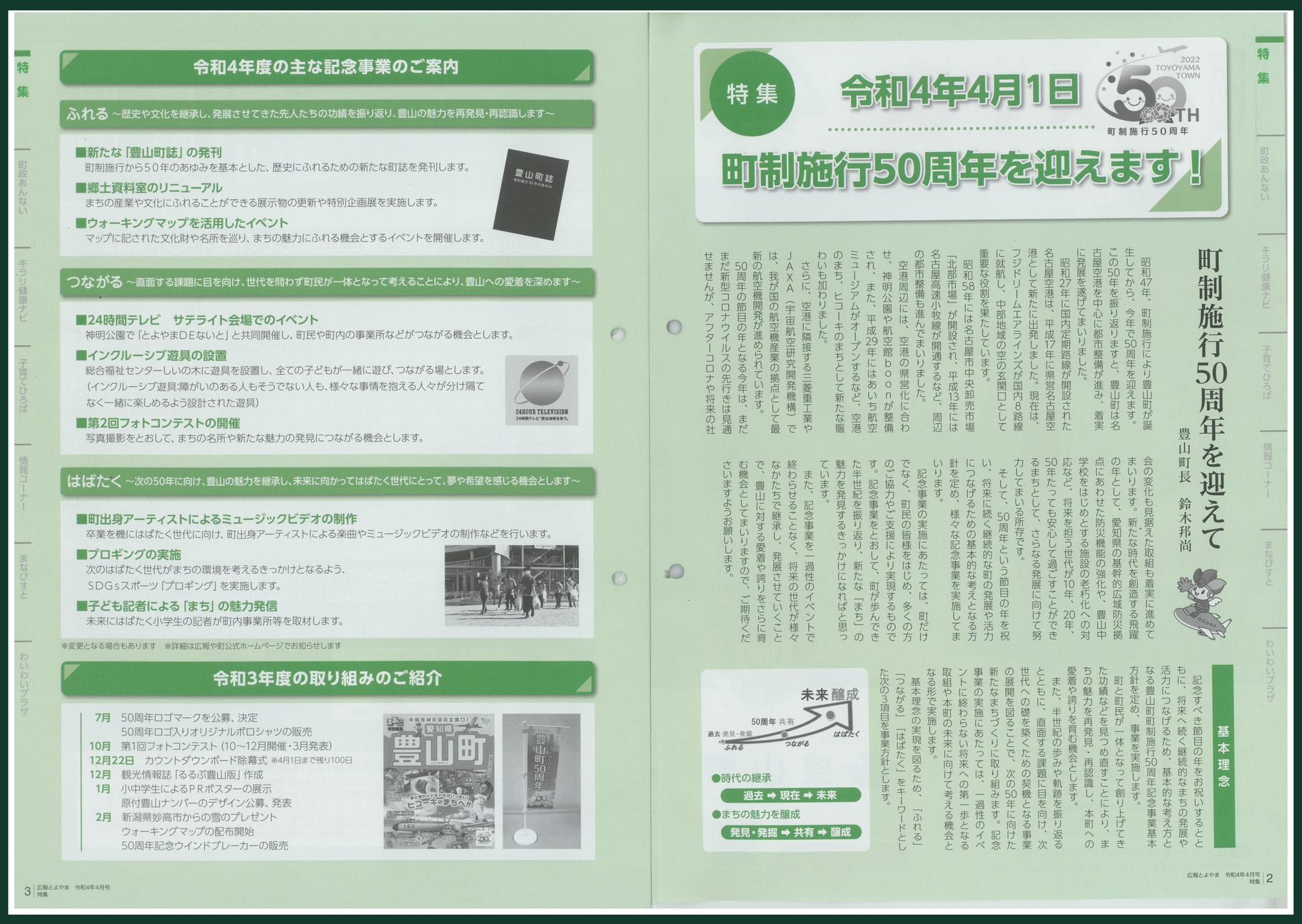
令和４（2022）年・令和５（2023）年

令和４年４月号



令和4年度の主な記念事業のご案内

ふれる ～歴史や文化を継承し、発展させてきた先人たちの功績を振り返り、豊山の魅力を再発見・再認識します～

■新たな「豊山町誌」の発刊
町制施行から50年のあゆみを基本とした、歴史にふれるための新たな町誌を発刊します。

■郷土資料室のリニューアル
まちの産業や文化にふれることができる展示物の更新や特別企画展を実施します。

■ウォーキングマップを活用したイベント
マップに記された文化財や名所を巡り、まちの魅力にふれる機会とするイベントを開催します。

つながる ～直面する課題に目を向け、世代を問わず町民が一体となって考えることにより、豊山への愛着を深めます～

■24時間テレビ　サテライト会場でのイベント
神明公園で「とよやまDEないと」と共同開催し、町民や町内の事業所などがつながる機会とします。

■インクルーシブ遊具の設置
総合福祉センターしいの木に遊具を設置し、全ての子どもが一緒に遊び、つながる場とします。
(インクルーシブ遊具:障がいのある人もそうでない人も、様々な事情を抱える人々が分け隔てなく一緒に楽しめるよう設計された遊具)

■第2回フォトコンテストの開催
写真撮影をとおして、まちの名所や新たな魅力の発見につながる機会とします。

はばたく ～次の50年に向け、豊山の魅力を継承し、未来に向かってはばたく世代にとって、夢や希望を感じる機会とします～

■町出身アーティストによるミュージックビデオの制作
卒業を機にはばたく世代に向け、町出身アーティストによる楽曲やミュージックビデオの制作などを行います。

■プロギングの実施
次のはばたく世代がまちの環境を考えるきっかけとなるよう、SDGsスポーツ「プロギング」を実施します。

■子ども記者による「まち」の魅力発信
未来にはばたく小学生の記者が町内事業所等を取材します。

※変更となる場合もあります　※詳細は広報や町公式ホームページでお知らせします

令和3年度の取り組みのご紹介

7月　50周年ロゴマークを公募、決定
　　50周年ロゴ入りオリジナルポロシャツの販売
10月　第1回フォトコンテスト（10～12月開催・3月発表）
12月22日　カウントダウンボード除幕式 ※4月1日まで残り100日
12月　観光情報誌「るるぶ豊山版」作成
1月　小中学生によるPRポスターの展示
　　原付豊山ナンバーのデザイン公募、発表
2月　新潟県妙高市からの雪のプレゼント
　　ウォーキングマップの配布開始
　　50周年記念ウインドブレーカーの販売

特集　令和4年4月1日　町制施行50周年を迎えます！

町制施行50周年を迎えて

豊山町長　鈴木邦尚

昭和47年、町制施行により豊山町が誕生してから、今年で50周年を迎えます。この50年を振り返りますと、豊山町は名古屋空港を中心に都市整備が進み、着実に発展を遂げてまいりました。

昭和27年に国内定期路線が開設された名古屋空港は、平成17年に県営名古屋空港として新たに出発しました。現在は、フジドリームエアラインズが国内8路線に就航し、中部地域の空の玄関口として重要な役割を果たしています。

昭和58年には名古屋市中央卸売市場「北部市場」が開設され、平成13年には名古屋高速小牧線が開通するなど、周辺の都市整備も進んでまいりました。

空港周辺には、空港の県営化に合わせ、神明公園や航空館ｂｏｏｎが整備され、また、平成29年にはあいち航空ミュージアムがオープンするなど、空港のまち、ヒコーキのまちとして新たな賑わいも加わりました。

さらに、空港に隣接する三菱重工業やＪＡＸＡ（宇宙航空研究開発機構）では、我が国の航空機産業の拠点として最新の航空機開発が進められています。

50周年の節目の年となる今年は、まだまだ新型コロナウイルスの先行きは見通せませんが、アフターコロナや将来の社会の変化も見据えた取組も着実に進めてまいります。新たな時代を創造する飛躍の年として、愛知県の基幹的広域防災拠点にあわせた防災機能の強化や、豊山中学校をはじめとする施設の老朽化への対応など、将来を担う世代が10年、20年、50年たっても安心して過ごすことができるまちとして、さらなる発展に向けて努力してまいる所存です。

そして、50周年という節目の年を祝い、将来に続く継続的な町の発展や活力につなげるための基本的な考えとなる方針を定め、様々な記念事業を実施してまいります。

記念事業の実施にあたっては、町だけでなく、町民の皆様をはじめ、多くの方のご協力やご支援により実現するものです。記念事業をとおして、町が歩んできた半世紀を振り返り、新たな「まち」の魅力を発見するきっかけになればと思っています。

また、記念事業を一過性のイベントで終わらせることなく、将来の世代が様々なかたちで継承し、発展させていくことで、豊山に対する愛着や誇りをさらに育む機会としてまいりますので、ご期待くださいますようお願いします。

基本理念

記念すべき節目の年をお祝いするとともに、将来へ続く継続的なまちの発展や活力につなげるため、基本的な考え方となる豊山町町制施行50周年記念事業基本方針を定め、事業を実施します。

町と町民が一体となって創り上げてきた功績などを見つめ直すことにより、まちの魅力を再発見・再認識し、本町への愛着や誇りを育む機会とします。

また、半世紀の歩みや軌跡を振り返るとともに、直面する課題に目を向け、次世代への礎を築くための契機となる事業の展開を図ることで、次の50年に向けた新たなまちづくりに取り組みます。記念事業の実施にあたっては、一過性のイベントに終わらない将来への第一歩となる取組や本町の未来に向けて考える機会となる形で実施します。

基本理念の実現を図るため、「ふれる」「つながる」「はばたく」をキーワードとした次の3項目を事業方針とします。

未来醸成
過去 発見・発掘 → 50周年 共有 → 未来
ふれる　つながる　はばたく
●時代の継承
過去 ➡ 現在 ➡ 未来
●まちの魅力を醸成
発見・発掘 ➡ 共有 ➡ 醸成

令和４年６月号

令和５年１月号

令和４年４月１日、豊山町は町制施行50周年を迎えました。
４月号では50周年の基本理念「ふれる・ひろがる・はばたく」に基づいた記念事業の特集が掲載されました。
1月号では「先人たちが築き上げてきたこの50年、そして、これから私たちが紡いでいく豊山町の未来に思いを馳せること」をコンセプトとして打ち上げられた花火が表紙を飾りました。